

令和7年度予算の概要

一般会計予算を4日間集中審査

地方公営企業法に基づき、事業の内容や財源を盛り込んだ実施計画書等により、令和7年度一般会計予算を審査しました。

今定例会に提出された一般会計予算295億9千万円を、予算審査特別委員会で4日間にわたり慎重に審査しました。

また、特別会計予算137億8946万円が提出され、市民厚生委員会でも審査しました。

地方公営企業法の財務適用による企業会計方式の下水道事業会計予算は、建設環境委員会で審査しました。通算6日間にわたる審査の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計予算の審査から

令和7年度予算の特徴点について

問 基本的な考え方、特徴的な内容について伺う。

答 人件費の上昇や物価高騰など今後の財政需要が不透明な中での予算編成となった。新規・改善事業の精査に加え、既存事業の見直しや経常経費の削減に取り組む一方で、物価高騰対策としてのキャッシュレス決済ポイント還元事業や、学びの多様な学校の移設分校化、施設保全・改修計画に基づく公共施設の適正管理に加え、DXの推進などの経費を盛り込んだ。

ウクライナ避難民生活支援給付事業について

問 事業費増額の理由を伺う。

答 事業費増額の理由を伺う。

なる自主防災組織の活性化支援を目的に均等割を増額した。本市の取り組みとして、令和6年度は、市総合防災訓練で福生第四小学校をメイン会場として位置づけ、児童及び地域にお住まいの方にも参加いただいた。訓練の様子は市公式YouTubeサイト福生市メディアラボにて公開している。

戸籍業務について

問 戸籍への振り仮名記載制度のスケジュール等を伺う。

答 令和7年5月26日から制度が開始。本籍地が福生市の方に對し、同日以降に、戸籍に記載される予定の振り仮名を通知するはがきを送付。通知を受け取った方は、振り仮名に誤りがあった場合には、1年以内に届出を行う必要がある。届出は、市区町村窓口、郵送、マイナンバーを活用したオンラインにて手続きが可能。振り仮名は、令和8年度以降に戸籍に記載する予定。

自主防災組織運営費補助金について

問 増額の目的と本市の取り組みについて伺う。

答 昨今、全国的に地域コミュニティの希薄化が危惧されており、令和7年度予算において、さら

なる自主防災組織の活性化支援を目的に均等割を増額した。本市の取り組みとして、令和6年度は、市総合防災訓練で福生第四小学校をメイン会場として位置づけ、児童及び地域にお住まいの方にも参加いただいた。訓練の様子は市公式YouTubeサイト福生市メディアラボにて公開している。

相当のポイントを上限に付与する。対象者は市内外を問わず、いずれかのアプリの利用者で、対象店舗は、大型店やチェーン店等を除く、いずれかの決済サービスを導入している中小企業、個人事業主等を対象とする予定。

資源売却収入について

問 6年度から大幅に増加した理由を伺う。

答 主に新聞、雑誌、紙、段ボール、古布といった可燃系資源の単価が上昇していることにより増額した。新聞は令和5年度上半期が1キログラム当たり18円だったが、6年度上半期は最大で25円、古布は令和5年度上半期が1キログラム当たり最大で25円だったが、6年度上半期では最大で45円となっている。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

問 市民の自己負担額は何の程度になるか。

答 国等からの財源は、定期接種となる初年度のみとされていたため、令和7年度においては定期接種に係る国の交付税措置があるものの、国及び東京都からの助成金、補助金はないことから、令和6年度は2500円だった自己負担額が7500円程度になる見込み。

キャッシュレス決済のポイント還元事業について

問 事業の内容を伺う。

答 PayPay、au PAY、d払いの各決済アプリを活用し、令和7年6月2日から22日までの3週間にわたり実施。ポイント還元率は30%で、期間中1人当たり3千円

相当のポイントを上限に付与する。対象者は市内外を問わず、いずれかのアプリの利用者で、対象店舗は、大型店やチェーン店等を除く、いずれかの決済サービスを導入している中小企業、個人事業主等を対象とする予定。

妊婦支援給付金について

問 事業概要を伺う。

答 妊婦の経済的負担の軽減等を目的とした給付金で、支給認定された妊婦を対象に妊娠中に1回目の給付として5万円を、2回目は胎児1人につき5万円を支給するもの。2回目の給付については、令和7年4月1日以降に出産した方が対象となる。令和7年度当初予算では1回目の給付5万円×年間360件分の1800万円、2回目の給付を5万円×年間360件分の1800万円、合計3600万円を計上している。

富士見通り線整備事業について

問 進捗状況と事業委託内容を伺う。

答 用地取得について約99%と大部分が確保できたことから、実施設計委託料1151万7千円については、実際に道路工事を施工するための道路詳細設計、地上機器の位置を含む電線共同溝詳細設計など道路の設計図面の修正を行い、工事に必要な数量計算や工事費用概算額の算定を行うものである。

公共施設予約システムについて

問 キャッシュレス決済導入にあたっての詳細や予約等の手順を伺う。

答 公共施設予約システムの更新に合わせて、キャッシュレス決済を導入する。予約から支払いまでをスマートフォン等で完結できるように、窓口に向く必要がなくなることから利用者の利便性の向上が図られる。予約等の手順については、窓口における現在の運用と整合を図る必要があるため、担当間で引き続き連携し、運用開始に向け調整していく。

幼保小中連携事業について

問 令和7年度の取り組みと高校との連携を伺う。

答 4月に市内の全小学校で幼稚園・保育園の保育者が小学1年生クラスを参観する。8月9日には小学校教員が5歳児クラスを参観するほか、各小学校と各園で児童と園児の交流活動を実施する。市教育委員会では幼保小連携推進委員会を年2回、幼保小連携推進通信「かけはし」を年間4回発行する。高校との連携は、都立福生高校と多摩工科高校に「いじめ防止サミット」への参加を依頼する。



令和7年度 各会計別予算規模 (人口 R7.1.1現在 56,582人)

会計区分	令和7年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額	
一般会計	295億9,000万円	△ 16.7	52万2,958円	
特別会計	国民健康保険特別会計	66億1,372万5千円	△ 1.5	11万6,888円
	介護保険特別会計	56億1,242万3千円	2.9	9万9,191円
	後期高齢者医療特別会計	15億6,332万円	△ 0.2	2万7,629円
総合計	433億7,946万8千円	△ 12.0	76万6,666円	

下水道事業会計

	収入	支出
収益的収支	15億7,176万7千円	14億766万5千円
資本的収支	7億1,434万3千円	12億6,270万3千円